

「横田飛行場の民間航空利用等の早期実現についての要望書」提出に対する抗議

瑞穂町は、昭和15年の陸軍の強制接收に伴う多摩飛行場（現・横田基地）設置以来、航空機騒音等の被害を受けております。基地の存在に対する補償も十分とは言えぬ状況の中、町民は、常に航空機の騒音に悩まされ、いつ起こるとも知れぬ航空機事故に不安な日々を送っています。また、建築物の高度制限など土地利用上の制約もあり、町の発展を大きく阻害されておりますが、国策による施設であるとして堪え忍んでまいりました。

このような中、八都県市首脳会議が平成19年6月8日付けにて「横田飛行場の民間航空利用等の早期実現についての要望書」を内閣総理大臣をはじめ、外務大臣、国土交通大臣、防衛大臣に提出したとの発表を受けました。内容を見る限り、騒音被害のみならず、航空機事故の発生に対し不安な毎日を送っている町民の心情を考慮しているとは思えず、提出されたことに対し憤りを覚えるものであります。

瑞穂町では、「軍民共用化」は、生活環境への被害が増大するばかりではなく、飛行場の永久化につながることから絶対反対であり、今回の要望書提出に対し、強く抗議するものであります。

貴職におかれましては、飛行直下に位置し、甚大な航空機騒音被害を受けている町の実情をご賢察のうえ、ご配慮をいただきたくお願い申し上げます。

平成19年6月13日

八都県市首脳会議

座長 千葉県知事 堂 本 暁 子 様
東京都知事 石 原 慎太郎 様

東京都西多摩郡瑞穂町
瑞穂町長 石 塚 幸右衛門